

7・8 4野党合同街頭演説大要

皆さんこんにちは。日本共産党の県議会議員、斉藤信でございます。西日本の広島県、愛媛県など11府県に特別警報が出され、大雨洪水で死者56人、安否不明45人（8日11時現在）を超える大きな災害となりました。犠牲となられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆さんにお見舞いを申し上げます。6月18日には大阪北部地震があったばかりです。昨年の九州北部豪雨、2年前の岩泉町を直撃した台風10号災害、7年4ヶ月前の東日本大震災津波、日本は世界一の災害列島であります。自然の災害は食い止めることはできませんが、災害を最小限に食い止め、被災者の命と暮らしを守ることは、政治の最優先課題であります。この点でも国民に背を向け、暴走する安倍政治の転換を勝ち取ることが重要になっているのではないのでしょうか。

みなさん。森友・加計疑惑で追い詰められた安倍政権は、疑惑追及から逃げ回る一方で、国会を7月22日まで、32日間も延長し、国民が反対している悪法を数の力で強行しています。森友・加計疑惑は疑惑がますます深まるばかりです。森友学園問題の根本は、8億円の値引きがなぜ行われたのかということです。しかし、財務省の調査結果ではこの問題は調査されませんでした。日本共産党に寄せられた内部文書では、「最高裁まで争う覚悟で非公表にする」と書かれていました。加計学園問題では、愛媛県の公文書が国会に提出されました。安倍首相と加計孝太郎氏との面談がきっかけとなって、53年間認められなかった獣医学部の新設が官邸主導で進められ、愛媛県と今治市から93億円もの補助をいただいたというものです。どちらも疑惑の中心に安倍首相と安倍昭恵夫人がいること。安倍首相のウソが、官僚のウソと公文書の改ざんにまで及んでいることが明らかになったのではないのでしょうか。

皆さん。首相のウソがまかり通る政治はやめさせましょう。安倍首相が辞めるまで、徹底して追求しようではありませんか。

延長された国会で、6月29日、働き方改革法が強行採決されました。これは、土日・深夜働いても残業代は出さない。労働時間の規制をなくすという世紀の悪法です。残業も月100時間未満まで認めるという過労死促進法です。過労死で夫や娘さんをなくした家族の方々が遺影をもって最後まで反対し、国民の多数も反対していましたが、自民、公明、維新の会が強行採決しました。絶対に許されない暴挙です。7月5日の県議会では、「働き方改革法の廃止を求める意見書」を全国で最初に採択しました。この悪法を実行させないたたかいを進め、廃止を求める運動を広げましょう。

皆さん。今、世界の情勢、北東アジアの情勢に大きな変化が起こっています。4月27日の南北首脳会談に続き、6月12日には、史上初めて米朝首脳会談が行われました。ここでは、朝鮮半島の非核化と朝鮮戦争の終結をめざす平和体制の構築が合意されました。戦争の危機から平和体制の構築へ、平和へのプロセスが開始されました。対話否定・圧力一辺倒の安倍政権の外交は完全に破たんし、変更を余儀なくされています。北東アジアに平和の体制が構築されるなら、5兆円を超える軍事費も、秋田県に1000億円もかけて作ろうとしているイージスアショア・迎撃ミサイル基地も、沖縄の米軍基地も必要がなくなります。憲法9条の立場に立って、対話と外交で北東アジアに平和の体制を構築しましょう。軍事費を削って暮らしと福祉を守れの新たな闘いを広げようではありませんか。

皆さん、安倍政権を倒し、政治を変える力は、市民と野党の共闘以外にありません。岩手では、4月から野党4党の実務者会議を始めました。6月9日に続いて7月8日の今日も第2弾の野党合同街頭演説を行いました。市民の皆さんと力を合わせて、国会での野党共闘の前進を力に、魅力ある共通政策を実現し、相互支援・相互協力の本格的な共闘を実現するために、日本共産党は誠実に全力で取り組む決意を述べ連帯のあいさつといたします。